

## 事業報告書（令和5年度）

事業名 映像作品「おもい・つなぐ・むすぶ」

団体名 劇団公民館京山

担当者名 鴨井 典栄

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）
日時：令和6年1月28日（日）14：10～15：20
場所：岡山市立京山公民館
参加対象者：地域の方々ほか
人数：12名＋観客10名
内容：第19回京山ESD・SDGsフェスティバルにて映像作品の上映及び交流会
2. ESDの視点
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか
子供たちも含め、お互いに意見を出し合い作品作りを行うことで、自らアイデアを出すなど積極的に参加するようになった。また、京山地域の「良い」ところを感じてもらえた、
② どのように学び合いを取り入れたか
様々な年代の方が作品に参加する中で、互いを認め合い高め合うこと、協力することで作品づくりの「面白さ」が学べたと考えている。また、子供たちに対しては、初めて撮影に臨むにあたり親子出演にし、撮影に慣れて自然体になれるよう工夫した。
③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか
京山公民館で映像作品を上映するだけでなく、意見交換の時間を設け、「京山地区をロケ地とすることで改めて地区の魅力を再発見することができる。」とか、「映画を地域で制作することで子ども達から高齢者の方までつながれる可能性を感じた。」とか、撮影場所や撮影手法についてなど様々な意見をいただいた。
3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）
地域コミュニティとしての京山公民館と連携することで、地区の魅力を再確認できる映像作品として京山公民館で上映することで、地域の方々に作品に愛着を持っていただけたと感じている。
4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域のESDの取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）
もっと多様な方が作品に参加していただくことと、撮影場所の許可の確保などが課題となっている。展望としては、地域コミュニティとしての公民館と連携しながら、多様な世代が交流する機会を提供していきたいと考えている。また、将来的には、身近な環境問題も取り上げたいと考えている。

## 映像制作の撮影状況



## 第19回京山ESD・SDGsフェスティバル開催



## 第19回京山ESD・SDGsフェスティバル開催

映像作品上映会状況



意見交換会状況



集合写真

